



原山通信

第9号 H29.1.13 発行

-生徒指導便り-

担当 中野 弘道

名言を心に・・・

「何もしていない自分に辛くなった」

-名もない女子高生-

2017年がスタートして13日が経ちました。新年に立てた目標は、現在も継続しているでしょうか。冬休み中も皆さんが常日頃から心がけている「心遣いの知多中」を自然と意識して行動してくれたおかげで、大きな事件や事故もなく3学期の始業式を迎えられたことを本当にうれしく思います。



さて、知多中学校といえば、生徒の皆さんも職員も口をそろえて言うフレーズ。それは「心遣い」ですね。2017年最初の方山通信の名言、それは知多中が心がけていることを、皆さんと同世代の高校1年生の女子生徒がとった行動がニュースになったことです。

地元の警察署は4日、県道に散乱していた古紙を一人で回収した高校1年の女子高生（16）に感謝状を贈った。見て見ぬふりをして通り過ぎる自分を受け入れられず、後先のことを考えずに一心不乱に集めた行動は、周囲の心を揺り動かしした。

自転車で通学している女子高生は、昨年12月21日夕方、県道を通りがかった際、新聞紙や折り込みチラシが半径約3メートルにかけて大量に散乱しているのを目の当たりにした。一度はそのまま通り過ぎたものの、「何もしていない自分に辛くなった」と戻ってきた。

当初は、古紙を自転車の前かごに積んで自宅に持ち帰ろうとしたが、収まり切らない。約500メートル離れたコンビニエンスストアへ行き、ごみ袋を買って戻り、再び拾い集めた。現場は交通量の激しい通り。女子高生は青信号になるたびに、ひたすら拾い続けた。午後5時20分ごろ、同署に「落とした荷物を女子高生が一人で拾っている。かわいそうだから助けてほしい」と連絡が入った。署員が駆け付けると、すでにごみ袋3袋分、計10キロの古紙が回収されていた。持ち帰り方法を考えていた矢先に署員が到着。安心した女子高生の目からは涙が流れた。

高校ではバスケットボール部に所属している彼女は、学校周辺のごみ拾いなど美化活動をしてから朝の練習に参加しており「学校でもやっているのであたりまえと思って拾いました」と振り返った。地元の警察署長から感謝状を贈られ、女子高生は「周りのことをもっと見られる一年にしたいです」とほほ笑んだ。

今年も皆さんが、落ち着いて学習や部活動に集中して取り組めるように、見守っていきたいと思います。そして、ちょっとした場面で垣間見える「知多中生の心遣い」を今年も大切にしていきましょう。

知多中学校

◇ホームページ : <http://www.schoolweb.ne.jp/chita/chita-j/>

◇携帯電話サイト : <http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/index-i.php?id=2320095>

◇Email : chitajhs@ma.medias.ne.jp

